

校友会活動ビジョン

ビジョン

未来を生みだす、立命のきずな。
応援しよう、個のかがやきを。

行動指針

1. 未来を信じ挑戦し、自らのボーダーを超える。
2. 多様性を認め、楽しく相互に成長できるつながりをつくる。
3. 循環型支援の立命文化を創る。
4. グローバルシチズンとして、広く社会に貢献する。
5. 立命人としての誇りを持ち、大学の価値向上に寄与する。

りつめい No.287 / 2022年4月号

発行所 / 立命館大学校友会 / 年3回発行
発行人 / 村上健治
編集人 / 乾 光孝
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217
URL: <https://alumni.ritsumeijp/>
E-mail: alumni@st.ritsumeijp

ご連絡先の変更はこちらから▶



りつめい

藤子・永川 署名総長

立命館大学校友会報

輝くひと

東北楽天
ゴールデンイーグルス
辰己 涼介さん
(’19産社)

| 巻頭特集 |

挑戦を続ける

成長した先に楽しさがある。 そう信じてグラウンドに立つ。

「一流になりたい。なれると信じています」

そう語ったのは、東北楽天ゴールデンイーグルスに入団して4年目を迎えた辰己涼介さん。一見自信にあふれた言葉の背後には、厳しい世界の中でもがきながらも懸命に上を目指すひたむきな姿勢がある。2021シーズンは130試合に出場し、守備で活躍した選手に与えられる「ゴールデン・グラブ賞」を初めて獲得した。しかし「3年間の打撃成績は横ばい。年齢を重ね、心も体も成長しているはずだと考えると、右肩下がりという感覚です」と自己評価は厳しい。唯一、手応えを感じたのは、開幕戦で先頭打者ホームランを打った試合だけだという。シーズン終了後も気持ちを緩めることなく、ほとんど休みなしで自主トレーニングを続けている。

小学1年生で地元・神戸のリトルリーグに入り、中学、高校と常にチームの中心メンバーとして活躍してきた。立命館大学でも1回生からレギュラーを獲得し、リーグ戦3連覇に貢献。4回生の春季リーグでリーグ戦通算100安打を達成し、最優秀選手賞を受賞したことに加え、「侍ジャパン」大学日本代表にも3度選出された。「チームとしても個人としても、常に一位になることを目指してやってきました」と辰己さん。そのために寸暇を惜しんで練習した。

忘れられないのは、リーグ優勝を決める試合でも「侍ジャパン」の一員として出場した国際試合でもなく、4回生の時に出場した「全京都大学野球トーナメント大会」だという。この日ばかりは自分の成績を気にせず、ただ思い切りプレーした。「公式戦にはなかなか出場できていない選手たちと試合に出て、『辰己さんと一緒にプレーできて楽しかった』と言われたことが心に残っています」と屈託なく笑った。

そんな辰己さんにとっても、プロ野球は「野球を楽しむことを忘れてしまうくらい」ハイレベルな世界だった。それでも「苦労は自己責任です。苦労した話しても面白くない。活躍して夢のある話だけをしたい」と、前だけを見据える。「挑戦するのは勇気が要ります。でも挑戦しないと、望む結果はついてこない。僕は目標を達成できる人間でありたいと思っています」。2022シーズンの目標は、一番打者として定着すること。ひょうひょうとして見えるが、目の奥には強い決意がうかがえた。



東北楽天ゴールデンイーグルス

たつみ りょうすけ
辰己 涼介さん
(19産社)

輝くひと
117

■ PROFILE

兵庫県出身。2015年、立命館大学入学。立命館大学硬式野球部に活躍。リーグ戦3連覇、個人でもベストナイン2度、最優秀選手賞を受賞。2018年、東北楽天ゴールデンイーグルスにドラフト1位で指名を受け、入団。1年目より一軍で出場し、2021シーズンは自己最多の130試合に出場。第50回三井ゴールデン・グラブ賞を受賞。

立命館大学校友会報

りつめい APRIL 2022
No. 287

03 巻頭特集

挑戦を続ける

02 輝くひと

東北楽天ゴールデンイーグルス
辰己 涼介さん

08 RITSUMEI INTERVIEW

映画監督/株式会社 Studio-884.Pro 代表取締役
瀧川 元気さん

12 立命館ファミリー

13 母校・後輩支援事業「RI-sA」活動報告

14 立命館の研究者たち from RADIANT

文学部 宮本 直美 教授
「クラシック・コンサートの『聴き方』の変遷を追う」

16 応援しよう、個のかがやきを。

17 校友会未来人材育成基金

18 オンラインでつながる、ひろがる 各校友会のオンラインでの取り組み

19 校友会ネットワーク/ 校友会 TOPICS

20 立命館オンラインセミナーのご案内

21 Ritsumeikan Channel

22 学生の活躍

Present

アンケートにご協力いただいた方に抽選でプレゼントをお贈りします!



24 キャンパストピックス

28 3.11復興への願い/ 会報と大学・校友会の最新ニュースを メールでお届けします!

29 卒業後も大学を利用しよう!

30 INFORMATION 編集室から

掲載内容は2022年2月時点のものです。(一部特記箇所を除く)
デザイン・ディライツ広告事務所

Keep Challenging

| 巻頭特集 |

挑戦を続ける

決して己に満足せず、高い目標に向かってひたむきに汗を流す。

最高峰のフィールドを求め、海外で挑戦する。

自分自身が納得できるまで、ただ懸命に追求する。

「好き」から膨らんだ壮大な夢に向かって走り続ける。

それぞれの分野で活躍しながら、

たゆむことなく挑戦し続けている校友たちを紹介する。

撮影：P6-7 岡田 一也

「アニメーションや映像に強い思い入れがあったわけではありませんでした」。そう振り返った小島裕さん。立命館宇治高等学校から立命館大学に進学する時に、映像学部に興味を引かれたのも、「ものをつくるのが好きだから」というシンプルな理由だった。「でも入学してみると、周りには『映画監督になりたい』などといった明確な目標を持った友達が勢いで、何も目的を持っていない自分に焦りを感じました」と言う。そんな小島さんが心を引かれたことが二つあった。

一つは、映像制作サークル「GREENS」の活動だ。「画角の中にどのような絵を描くか、『絵作り』の技術などは今も役立っていますが、それ以上にみんなで映画を作ることが楽しかった。ものづくりに対する感性を磨くことができました」

もう一つが2回生の時に受講したCGの授業だ。「映像制作に役立つかも」と軽い気持ちで受講したが、たちまちのめり込んだ。小島さんを魅了したのは、「ゼロから一」を創り出すところだった。「物質的な制約のある実写と違い、CGはどんなシーンも想像通りに描き出すことができます。まるで神様になったみたいに映像を創造できるところが面白かった」と語る。3回生からはCG制作のゼミに所属。CGアニメーションのショートフィルムを制作する課題に取り組む中で、次第に自分の「足りないところ」が見えてきて、「アニメーションの技術を専門的に学びたい」という思いが膨らんでいった。

大学卒業後、小島さんが進学先に選んだのは、カナダの映像専門学校 Vancouver Institute of Media Arts。バンクーバーは、CGの最先端技術が集結する場所として知られている。それに加えて「将来はいろいろな人ともものづくりがしたい。そのために英語を話せるようになりたいという気持ちもありました」とカナダ行きを決めた理由を語る。そこで1年間、英語に悪戦苦闘しながら

CGアニメーションに関わる専門的で多様な知識・技術を身に付けた。

世界中から映像のスペシャリストが集まる、実力がものをいう場所。専門学校を卒業後、カナダでの就職を目指したものの、実績のない小島さんには簡単なことではなかった。最初はどの会社にも相手にされず、半年間の就職活動を経てようやく Encore VFXというドラマの制作会社に就職。そこでハリウッドの大作映画の制作に関わるチャンスをつかみ、その実績が評価されてモントリオールにある大手映像制作会社の MPC film へ入った。そこでの3作品目の仕事が、2021年公開の超大作『ゴジラ vs コング』だった。

小島さんは、夜の大会場をバックにゴジラとコングが格闘するシーンのCGアニメーションを担当。「キャラクターの動きから構図、カメラワークまで任されました。特に苦心したのは、重量感やスケール感を出すこと。どうしたら2体が格好良く見えるか。スタッフにバトルシーンのアクションを実演してもらって、足の運びや負荷の掛かり方を確かめたり、ゴリラや爬虫類の動画を見て、動きを観察したりしながらアイデアを練りました」。数カ月間、細かなところまで作り込んだかいあって、2体が威嚇し合い、ぶつかり合う迫力満点のシーンが完成した。「自分が作ったシーンを映画館の大画面で世界中の人に見てもらえるのはやっぱりうれしい」と小島さん。エンドロールに自分の名前が流れた時には充実感が胸にあふれた。

現在はバンクーバーを拠点に、世界的なVFX制作会社 Framestore で、再びハリウッドの大作のCGアニメーションを手掛けている。どんなにダイナミックなアニメーションも、最初は生気も個性もない人形を作ることから始まる。「人形にどんな表情を付け、どう動かすか。アニメーターのアイデア次第でキャラクターに血が通い、物語が動き出します。そのアイデアを形にする最初の瞬間、まさにゼロから一を創り出す瞬間が何より楽しい」と小島さんは言う。

初めは目標や目的はなかった。しかし目の前にある、心から「面白い」と思ったことに全力で挑んできた先で、想像もしなかった大きな世界と出会うことになった。「今度はフルCGアニメーションの作品の制作に携わってみたい」。次の目標を見据えて、目を輝かせた。

最高峰が集結する場所で、ハリウッド超大作を手掛けるCGアニメーターに。

こじま ゆう
小島裕さん('15映像)
CGアニメーター

PROFILE 京都府出身。立命館大学映像学部を卒業後、カナダの専門学校 Vancouver Institute of Media Arts にて3D CGアニメーションを学ぶ。卒業後、ドラマ制作会社 Encore VFX を経てモントリオールにある MPC film に就職。2021年9月より大手VFX制作会社 Framestore に勤務。



2019年、「犬のかたちをしているもの」が第43回すばる文学賞を受賞し、小説家としてデビューを果たした高瀬隼子さん。2021年上半期には「水たまりで息をする」が第165回芥川龍之介賞の候補に選ばれ、文学界で注目を集める若手作家の一人となった。

「小説家になりたいと思ったのは、まだ小学校に上がる前。ひらがなが書けるようになった頃でした」。ファンタジーや冒険物語など、好きな本をまねて物語を書き始めたのが最初だった。

読むのも書くのも我流だった高瀬さん。新しい仲間や本と出会い、世界が広がるきっかけとなったのが立命館大学だった。「文学部哲学専攻では、ドイツ文学やフランス文学など、私が読んだことのないジャンルや作家に詳しい仲間がたくさんできました。『あの本、読んだ?』『この前の文学賞受賞作はどうだった?』なんて、誰かと本の話をする楽しさを初めて知りました」と振り返る。それを最も感じたのが、文芸サークル「立命文芸創作同好会」だった。毎週メンバーが書いた作品をみんなで見、論評し合う。「自分の作品の感想を聞くたびに『そんな風に読まれるのか』と驚きや発見の連続でした。また他の人の作品を読んでどこがどう面白かったのかを語り合う中で、『深く考える力』が鍛えられました」

ただ好きだから書く。それに満足せず「小説家になる」ために挑戦し始めたのも大学時代だった。初めて文学賞に作品を投稿するも落選。それでも諦めず、卒業後も働きながら少しずつ書きためて、数々の文学賞や新人賞に応募しては涙をのむ、その繰り返し。実に10年も続いた。支えになったのが、創作の喜びを分かち合ってきた同好会の仲間だ。「落選した小説は、卒業後も同好会の仲間と定期刊行している同人誌に掲載しました。誰かに読んでもらえることが、書き続ける力になりました」

その時にしか 書けない作品がある。 そう信じて書き続ける。

たかせ じゅんこ
高瀬 隼子さん(筆名)('11文)
小説家

「80歳になっても書き続け、一生に一冊でも自分の作品を出版できたらいい」。半ば諦めの気持ちでいた高瀬さんの心に火がついたのは、30歳を目前にした頃だ。同好会の仲間の一人の作品が大きな賞の最終候補に選ばれたのだ。「仲間の快挙がうれしかった半面、ねたましくもあって。私は何をしているんだろうと焦りが募りました」と打ち明ける。集英社のすばる文学賞の応募締め切りが迫る中、仕事の繁忙期と重なって筆は進まず、これまでにないほど追い詰められた。必死で書き進め、締め切り直前ようやく仕上げた作品が、ついに受賞に至った。『『受賞なんて私の人生に起こるわけがない』と、もう投げやりな気持ちになっていたのに、受賞の知らせを受けた時は本当に驚きました」

高瀬さんの小説の源泉は、日常にある。腹の立つことがあってもすぐに言い返せなかったり、周囲で理不尽な目に遭っている人を見ても助けることができなかったり。そんな日々のもやもやした気持ちを作品へと昇華させる。物語を生み出すのは、楽しくも苦しい作業だ。1章分ほど書いてみて読み返し、「面白くない」と思うと全部削除して一から書き直す。デビュー後の第2作は、完成までに10回近くも書き直した。「一晩に数千字、原稿用紙数十枚分を書いては、翌日すべて削除することもしょっちゅうです。書いては消し、書いては消しの繰り返し。5カ月間毎日書いて、納得できる文章が1行も書けなかったこともあり」と創作の苦勞を語る。プロとなった現在も、勤めながら小説を書く生活を続けている。残業が多い繁忙期は仕事帰りに深夜まで営業しているカフェに立ち寄り、1～2時間執筆してから帰宅することも多い。

「どれだけ苦しくても、書くことをやめたいと思ったことはない」という高瀬さん。プロの小説家として書き続ける原動力は、「自分の本が本屋に並ぶこと」と語る。「実家のある愛媛県の田舎町の小さな本屋さんの書棚に私の本の背表紙を見つけた時は、純粋にうれしかった」と明かす。

本が売れないといわれる現代、とりわけ純文学の世界で書籍を出版し続けられる作家は多くない。長年の夢をかなえた今、「小説家として生き残っていく」という新たな、そして今まで以上に難しい挑戦が始まっている。「40歳、50歳になった時にこそ、書ける作品があると思う。そこにたどり着くために、ただ懸命に書き続けるしかない」。そう前を向き、また新たな物語を紡ぎ出していく。

PROFILE 愛媛県出身。2019年、小説『犬のかたちをしているもの』が第43回すばる文学賞を受賞し、デビュー。2021年、『水たまりで息をする』(「すばる」2021年3月号)が第165回芥川龍之介賞の候補作となる(ともに集英社刊)。そのほか、「いい子のあくび」(「すばる」2020年5月号)、「休学(国産のため)」(「文藝」2021年春季号)などを発表。2022年3月、最新作『おいしいごはんが食べられますように』を講談社より刊行。





RITSUMEI INTERVIEW

目指すは 「史上最強の映画監督・プロデューサー」 今、夢はさらに壮大に

映画監督／株式会社 Studio-884.Pro 代表取締役

たきがわ げんき
瀧川 元気さん（'11 映像）

学生時代に映画を撮り始め、

2020年全国公開の映画『鬼ガール!!』でついに初監督を務めた。

監督、プロデューサーとして多彩に活躍する瀧川元気さんの挑戦について伺った。

撮影：二村 海

総 合大学である立命館大学に、「プロデューサー・マインド」の育成を掲げた映像学部が開設される。それを知って、絶対「ここに行きたい!」と思いました。映画好きの私にとって憧れだったジョージ・ルーカスやスティーブン・スピルバーグも大学でプロデュースを学び、監督、そしてプロデューサーとして素晴らしい映画を作っています。彼らのようになりたくて、入学試験の面接で「プロデューサーとしても有能な史上最強の映画監督になります」と宣言しました。何の裏付けもなかったのですが、高い志だけはありました。

映像学部の1期生として入学。「自分が監督、プロデュースした映画で、ジョージ・ルーカスに『Wow!』と言わせたい」という意気込みで、すぐに映画を撮り始めました。映画への情熱と行動力が私の武器です。映像学部と提携している株式会社松竹撮影所の衣装やセットを借り、自ら許可を取って二条城での撮影も敢行しました。一番の難題は、製作費用をどうやって捻出するか。思いついたのは、大学が募集していた学生プロジェクトへの支援制度に応募することでした。考え抜いた末に映画祭を開催するという

企画を提出。製作費を得るために始めたことでしたが、企画練り上げから大学との交渉、準備・当日の運営まで必死でやりきり、自分の映画を完成させるだけにとどまらず、立命館大学初で、今でも映像祭として続いている第一回の映画祭を成功させることができました。

映画祭の大トリとして上映した映画のエンドロールには、製作に関わってくれた100名以上の名前が並びました。初の映画製作で、プロデュース・監督・主役の三役をこなす中で実感したのは、一人で映画は作れないということです。



立命館大学在学時の瀧川さん

人とのつながりの大切さを学び、それまでなんとなく距離を置いていた同級生とも積極的に打ち解けるようになりました。4年間で自主製作した映画は20本にのぼります。映画製作を通じて同期の仲間がたくさんでき、先生方にもずいぶんかわいがっていただきました。鈴木岳海先生の「自分で枠組みを決めて『できない』と思うのではなく、『どうやって可能にしていけるか』を考えなさい」という言葉が、今も新しいことに挑戦する時の力になっています。

お茶出しで体得したプロデューサー・マインド

卒業後はアメリカで本格的に映画を勉強しようと考えていましたが、山田洋次監督の産学連携プロジェクト「山田塾」で映画の撮影現場に触れ、プロとして映画を作る面白さに引き込まれていきました。進路を決定づけたのは卒業間近の冬、大ファンだった三池崇史監督が京都で撮影していた映画の現場にスタッフとして潜り込めたことです。覚悟のいる挑戦でしたが、「何に代えてもやりたい」という気持ちで勝り、飛び込みました。

最初に与えられた仕事は、三池監督へのお茶出しです。ただ求められた時にお茶を差し出すのではなく、監督がいつ、どんな飲み物を欲するのかを感じ取り、用意しなければなりません。三池監督からは「目の前にいる人の気持ちも分からない人間に、銀幕の向こうにいる大勢の人を楽しませることなどできないよ」と厳しい一言。教えられたの

は、いわば「究極のプロデューサー・マインド」でした。

とはいえ最初は失敗ばかり。それでも三池監督の一挙手一投足に集中しているうちに、だんだん「お疲れのようだから、少し甘めがいいな」「考え事をしているからコーヒーだな」と察することができるようになり、さらには役者の芝居のどこを見ているか、いつ台本を確認するかも分かるようになっていきました。こうして「目で盗んだ」監督としての技術は、今も役に立っています。

忘れられないのは、それまでただの一度も名前を呼んでくださらなかった三池監督に、「元気」と呼ばれた時のことです。それが合図だったかのようにスタッフ全員から名前と呼ばれるように。「三池組」の一員として受け入れられた瞬間でした。それから1年間、「三池組」で助監督としてほとんど不眠不休で映画製作に没頭しました。「三池組」は日本映画界でも屈指の優秀なスタッフが集結している場所でもあります。「たくさんの仲間を作って、の上上がってやる」という気持ちで、どんなことも貪欲に吸収しました。

経験の全てを注ぎ、初監督した『鬼ガール!!』

「三池組」を皮切りに、フリーランスの助監督としてドラマやCM、ミュージックビデオなどさまざまな現場に参加し、経験と人脈を増やした20代。そんな中で出会ったのが、立命館大学の先輩で映画監督の瀬木直貴さんです。BS NHK「謎解きLIVE」シリーズで初めてプロデューサーをしていた

僕にお声がけいただき、瀬木さんが監督した『マザーレイク』(2016)、『恋のしずく』(2018)、『いのちスケッチ』(2019)でプロデューサーとしての経験を積みました。

私にとって挑戦だったのが、瀬木監督とともに「地域創生映画」を手掛けたことです。地域に深く入り、地域の魅力を最大限取り入れた映画作り。地域の人や物、資金の協力を得る一方で、キャスト・スタッフが地域の宿や店を利用したりするなど、人を呼び込み、経済を回すことで地域の活性化にもつながります。

私も地域に泊まり込み、飲食店協会に足を運んでスタッフ・キャストの食事の

提供をお願いしたり、自動車販売店に使っていない代車をお借りしたり。多方面に協力を仰ぎ、ドライバーからエキストラまで地域の人の手を借りました。心掛けたのは、地域の人にとっての「面白さ」も創り出すこと。「おそろいのTシャツを作って映画製作の一員になりませんか」「映画に出られますよ」などお願いすると、喜んで協力してくれました。製作に関わることで、地域の人にとって映画が「自分たちの映画」「わが街の宝」になる。それが地域創生につながっていくと考えています。

こうした経験の全てを注ぎ込んだのが、プロデュース兼初監督作品の『鬼ガール!!』(2020)でした。本作では、私の地元を含む、大阪奥河内(河内長野市・富田林市・千早赤阪村)の全面協力を得て、市内全域でロケを敢行。観光協会や商工会、青年会議所などにも協力していただき、地域の魅力を映像に詰め込みました。

映画は、女子高生が映画作りに奮闘する青春物語です。実は途中で少し脚本を変え、劇中で主人公が作る映画に、映像と舞台での演劇をつなげた「連鎖劇」を取り入れるという設定を加えました。これは大学1回生の春、初めて作った映画で私自身が使った手法です。「ジョージ・ルーカスに見てほしい」という大それた夢を抱いて撮影を始めたあの日と同じ気持ちを『鬼ガール!!』に込めました。

作品は、映画評論家を選ぶ「ニューヨーク・フィルムアワード」で、最優秀ファンタジー賞と初監督長編作品賞をダブル受賞し、「上海国際映画祭」の国際ナショナルパノラマ部門でも入賞。世界に踏み出す一歩になりました。

トータルエンターテインメントを製作・発信したい

現在、新しい挑戦を始めています。初の試みとして「NFT(Non Fungible Token: 非代替性トークン)」や「TikTok」といった新しいメディアを活用した映画作りに取り組んでいます。これまでにないプロモーションを展開し、映画公開前から収益を得る仕組みをつくるのが狙いです。いずれはあらゆるメディアを駆使するトータルエンターテインメントを製作・発信していきたいと考えています。同時に「GENKI TAKIGAWA」の名で全世界に公開する大作映画を監督するという目標も追いかけていきます。

究極の目標は、エンターテインメントの振興を通じて日



映像学部の授業にも携わり後進を育成

本のGDP成長に貢献すること。日本が豊かになれば、映画に出資・協賛する企業が増え、エンタメ界がさらに活性化される好循環が生まれます。それに向かって、やれるところまでやってみようと思っています。

また10年前、三池監督に教わったように、今度は自分が次代の映画界を担う人を育てていかなければならないと考えるようになりました。後輩たちにも「自分で自分の限界を決めないこと」を伝えたい。どんなに難しいチャレンジでも「どうすれば可能か」を考えれば、必ず突破口が開けます。なりたい自分になるために試行錯誤し、失敗もたくさん経験してほしい。若い人たちに「刺さる」言葉で伝え、後輩たちを育てること。私にとってもやりがいのあるチャレンジです。

PROFILE

映画監督
株式会社Studio-884.Pro 代表取締役

瀧川 元気さん

大阪府出身。2011年に映像学部を卒業後、三池崇史監督に師事し、『逆転裁判』(2012)『愛と誠』(2012)などで助監督を務める。その後、テレビ番組やCMなどでロケーションコーディネーターやプロデューサーを担当する。近年では瀬木直貴監督作品『マザーレイク』(2016)にてラインプロデューサー、『恋のしずく』(2018)『いのちスケッチ』(2019)にてプロデューサーを担当。『鬼ガール!!』(2020)ではエグゼクティブプロデューサーを務めるとともに、初めて自らメガフォンをとる。

“ 映画・映像業界で活躍する映像学部の後輩が増えてきました。一緒に仕事をしたり、今後仕事ができればと話したりしています ”

～立命館ファミリー～
立命館出身の親子・孫・きょうだいなど、
在学時の思い出と今を紹介します。

音楽でつながる立命館の思い出

話題はいつも立命館です。

音楽のこと、京都でお薦めのもの。

(娘・響さん)

娘

片岡 響さん
(産社4) 京都府在住
KDDI株式会社(内定)

—入学動機を教えてください。
よく父から立命館大学での学生生活の話聞いていました。京都で一人暮らしをしたいという思いもあって受験しました。音楽好きの父の影響で幼少期からバイオリンを弾いていたので、全国から多くの団員が集まる交響楽団があることにも魅力を感じました。

—学生生活について教えてください。

立命館大学交響楽団に入部。多彩な才能や個性を持ったさまざまな人がいることが新鮮でした。定期演奏会を目標に、意見をぶつけ合いながら高い水準の演奏に仕上げているのは、大変だけれどもすごく楽しい。もともと物おじしな性格ですが、クラブ活動を通して、主張するだけでなく、時には一歩引くことを覚えました。考え方も価値観も多様な人と協力できるようになったなと思っています。オーケストラにとことん熱中した、本当に充実した4年間でした。—ご家族で立命館について話すことは?

話題はクラブ活動のことや京都暮らし、です。父も学んだ以学館や、学食と一緒に行った時は不思議な気持ちになりました(笑)。



2回生の夏のサマーコンサートの様子



撮影：二村 海

今も胸が熱くなる仲間との思い出。
そんな経験を娘にもしてほしい。

(父・伸浩さん)

父

片岡 伸浩さん
(’94経済) 神奈川県在住
ソニー損害保険株式会社

—学生生活について教えてください。

ほとんど全てが男声合唱団メンネルコールの活動でした。最初に衝撃を受けたのは、舞台上で歌う瞬間の、ゾクゾクと鳥

肌が立つ気持ち良さ、打ち上げでのメンバーの弾けっぷり。日々の練習やキツイ合宿を経て、卒業する先輩を送り出す最後のコンサートでは、男泣きするほど絆が深まっていました。今思い出しても胸が熱くなります。

—立命館大学で良かったと思うことは?

1回生の時、クラブの先輩から「アイデアマンだね」と言われ、自分の強みに気付けたことが、社会に出てキャリアを重ねる上でも生きています。仲間と夜遅くまで語り合い、一つの目標に向かった経験が財産です。真面目にやる時も遊ぶ時も、仲間と一緒に全力で打ち込むことが宝になります。そんな経験を娘にもしてもらいたくて立命館大学を薦めました。

—お子さまの活躍ぶりをご覧になることは?

娘の定期演奏会のたびに京都に来ています。娘からお薦めスポットを聞いて訪れる、演奏会後の観光も楽しみにしています。



3回生の冬のカナダ演奏旅行の様子

立命館大学生・大学院生の 交流を創りつづける。

つながろう、つくりだそう 僕たちの未来

— 母校・後輩支援事業「RI-sA」活動報告 vol.5 —

2020年7月より、立命館大学生・大学院生がオンラインで交流する場所や機会を創り出すプロジェクト「RI-sA」が校友会の支援のもと、スタートしました。2021年度はRI-sA学生事務局を中心として、学生からのニーズの高いテーマでのオンライン交流会を実施しました。また、交流会のみならず、SNSを通じてのつながりをつくる情報発信なども積極的に取り組みました。

RI-sA公式SNS・WEBサイト

@risa_ritsumeik

@risa_ritsumeik

立命館 RI-sA 検索



WEBサイト

2021年度の活動報告

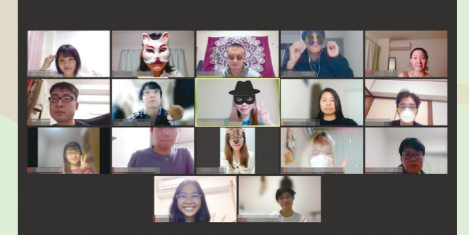
RI-sA学生事務局による交流企画

15名の学生事務局がオンラインを活用した交流企画を行いました。「オンライン交流会で、立命館の学生同士が新しい出会いや発見のある場を作る」をコンセプトとし、学生のニーズに合ったさまざまなテーマで交流企画を開催しました。約200名の学生同士の交流が生まれ、参加者からは「今までとは違う出会いがあった」という声をもらいました。また、学生事務局からも企画を通して、「初めてのことにチャレンジし、成長のきっかけになりました」という感想がありました。

コロナ禍でリアルな出会いから遠ざけられた学生たちにとって、オンラインで新しいつながりを模索する貴重な取り組みとなりました。

開催月 交流会名

6月	●声だけでつながる~Club House~ ●こっそり就活裏話カフェ ●学部別交流会 ●BKC交流会 ●GATHER交流会
7月	●0から始める就活相談会 ●コロナ後どう動く!?~ゆるふわ雑談~
8月	●こっそり就活ドラゴン桜セミナー ●就活なんでも相談会 ●韓国へオンライン夏休み旅行 ●夏休みオンラインボードゲーム ●グローバル交流会 ●衣笠国際交流会
10月	●~Zoomで楽しむ~ハロウィンゲーム交流会
11月	●Zoomで旅する世界ツアー ~お家でのんびり旅行気分~ ●“GarticPhone”を使った 絵しりとりを超えた超絵しりとり ●クイズ交流会 ●あなたの絵は伝わるのか?! 絵描き伝言ゲーム「GarticPhone」
12月	●絵心なんて関係ない! パッションで伝える「GarticPhone」パート1・パート2 ●3か月で700点以上! TOEICスコアアップセミナー ●じんろうげーむこうりゅうかい



オンライン交流会風景 (一部紹介)

クラシック・コンサートの「聴き方」の変遷を追う

「クラシック音楽のコンサート」と聞いて「オーケストラが壮大な交響曲を演奏する」といったイメージを思い浮かべる人は多いだろう。「現代のクラシック・コンサートでは、管弦楽が奏でる交響曲と、ソリストをゲストに迎えた協奏曲、そして15分程度の短い序曲で構成されたプログラムが一般的です。しかし18世紀のヨーロッパでは、まったく異なる形式でコンサートが催されていました」と明かしたのは宮本直美だ。宮本は、歴史社会学的な観点から音楽活動や音楽芸術観の変遷を追い、社会の中で「芸術の価値」がどのように形づくられてきたのかを研究している。

これまでの研究で、コンサートを近代ヨーロッパの「文化装置」とみなし、その場でプログラム編成や音楽の聴き方、さらに音楽の意味づけがどのように模索されてきたのかをつまびらかにしている。とりわけこの研究が他と一線を画するのは、従来「器楽」のジャンルで語られてきたクラシック・コンサートに、「声楽」の枠組みで捉えられるオペラの歴史を組み込み、論じたところにある。

宮本は18～19世紀、ヨーロッパ各国で催されたコンサートのプログラムを精査し、どのような曲目が演奏されていたのかを調査。「コンサート」という興行が現代のフォーマットになるまでに幾多の試行錯誤があったことを指摘している。「18世紀末のコンサートのプログラムを見ると、声楽曲もあれば交響曲の一楽章、多様な楽器による協奏曲もあり、あまりに雑多で統一性を欠いていることに驚きます」と宮本。

当時はバラバラな楽曲が抜粋された形で並べられたコンサートが当たり前で、現代の音楽祭のような趣だったという。

とりわけコンサートにあふれていたのが、人気オペラのファンタジーやパリエーションだった。「17世紀以降、音楽界ではオペラが圧倒的な存在感を放っていた一方で、劇や物語の要素を持たない器楽のコンサートは人気を獲得できませんでした」と宮本は解説する。コンサートが商業的な興行である以上、多くの聴衆を集める必要があった。そのためオペラを含め、バラエティーに富んだプログラムが編成されたというわけだ。

「芸術」としての側面が強調されがちなクラシック音楽にあって、宮本はその商業的な側面にも目を向けている。「18世紀、ベネフィット・コンサートの多くは劇場の催しの空白期、器楽奏者に稼ぎの場を提供するという意味も持っていました」。多くの器楽奏者にとってコンサートは、副収入を得る貴重な機会だった。1828年、ロンドンのキングス劇場では、オーケストラ団員に外部出演を禁じた音楽監督が、団員の集団辞職によってその任を追われるというスキャンダルまで起こったという。だが「器楽奏者が収入を補うために開いたコンサートが人々の器楽を聴く耳を育てていった」とも宮本は述べている。

「雑多でにぎやかなコンサートが主流の中、知的エリート層を中心に交響曲の『まじめな聴き方』を主張する声もありました」と続けた宮本は、「客席の音」に焦点を当

てた興味深い分析を行っている。

それによると、18世紀までのコンサートでは、演奏中に聴衆が立ち歩いたりおしゃべりしたりする光景がごく普通に見られた。ところが19世紀に入ると、聴衆は演奏中「沈黙し始めた」という。例えば1820年代から30年代、パリ音楽院の「公開練習コンサート」シリーズで「聴衆は総じて音楽を集中して聴いていた」という言説が残っている。

また1813年のロンドンでは、音楽と聴衆の態度に対する議論の中で、「コンサートが開かれたキングス劇場は『最高』の階級が集まるはずの場であるにもかかわらず、その貴族がほとんど教育を受けていないために、半ば野蛮人の集まりだ」との批判が展開されたという。「社会的ステータスや教養の有無と音楽を聴く態度を結び付けて語ることで、『静かに聴く』ことが音楽を『理解している』人の態度であるという規範が形成されていきました」と宮本は言う。その中で「まじめな音楽の聴き方」が浸透し、19世紀後半になって聴衆に「沈黙」の習慣が定着したようだと分析した。

そして時を同じくして音楽演奏の現場では、「まじめな芸術音楽」と「ポピュラーなコンサート」が明確に分化していったという。

現代のコンサートでは、声を上げたり、身体を動かしたり、聴衆の音楽を聴く態度も多様化している。「それでもロックバンドやアイドル歌手のコンサートなど、ジャンルによってある程度ルール化された聴き方があります。それも面白い」と宮本。クラシックとポピュラー、近代と現代、その端境に視線を注いでいる。

雑多でにぎやかだったコンサートで
聴衆が「沈黙」し始めた。

みやもと なおみ
宮本直美 教授
文学部

研究テーマ：近代ヨーロッパにおけるコンサートと娯楽、宝塚歌劇とファン組織、19世紀ドイツにおける音楽と教養、音楽の正統性と文化政策
専門分野：社会学、美学、芸術諸学

立命館大学研究活動報「RADIANT」(ISSUE 16 頁, pp. 4-5, 2021.11) より一部変更し、転載
RADIANT (ラディアント) は、立命館大学の多様な研究活動を紹介する研究活動報として2015年11月に創刊号(特集:アジア)を発行し、今年で8年目を迎えます。RADIANTは、「光を放つ、光り輝く」という意味を持つ形容詞です。今後、立命館大学の研究成果が光り輝く未来を生み出す一歩に、また、これからの世界を照らす一助になるという意味が込められています。今後一つのテーマを切り口に、立命館大学で展開されている研究を幅広く紹介していく予定です。

▶ <http://www.ritsumeikai.ac.jp/research/approach/vision/activities/>





青木 瞬さん('18国関)

フランス・ストラスブール在住/
外務省 在ストラスブール日本国総領事館 領事官補

外交官人生への第一歩

2年間の東京勤務の後、フランスのINSP※という官僚養成校にて現在研修を行っています。仏語の習得はもちろん、世界中から集まる外交官や公務員と肩を並べ議論する毎日です。来年以降の大使館勤務に向けて自己成長を目指します。

※ Institut national du service public



佐藤 真奈美さん('01文)

北海道在住/一般社団法人清水沢プロジェクト 代表理事

炭鉱遺産 # まちづくりの糧

炭鉱都市として栄えた夕張市で、地域固有の歴史や文化を糧に、地域内外の人々が共に歩むまちづくり事業を行っています。縮みゆくまちでも、現在と未来の市民、それに関わる人々が誇りを持てる地域づくりを目指しています。



「校友会未来人財育成基金」から生まれた「立命館大学校友会未来人財育成奨励金(団体支援)」が、学生の学びのフィールドを広げています。



受給学生による中間交流会をオンラインで開催しました。

2021年11月27日、「立命館大学校友会未来人財育成奨励金(団体支援)」受給学生と「立命館大学Challenge奨学金(個人)」受給学生の中間交流会をオンラインで実施しました。

第一部では、総長PITCH CHALLENGE2021 連動企画・RIMIXオープンゼミとして、「ソーシャルビジネス立ち上げを目指す学生生活」をテーマに、株式会社ボーダレス・ジャパンの鈴木健太郎さんと、安藤晶美さん(APU4)による講演会を開催しました。

第二部では、「立命館大学校友会未来人財育成奨励金(団体支援)」受給学生と「立命館大学Challenge奨学金(個人)」受給学生によるグループワークを行い、活動の進捗状況や、課題に対する工夫点や悩みなどについて意見交換を行いました。

参加者からは、「社会課題解決の本質を学ぶことができた」「進路について、新たな選択肢を知ることができた」という前向きな意見があり、コロナ禍によって対面で交流する機会が減少する中、グループ間の新たなつながりを創出する貴重な機会となりました。

※掲載中の所属・回生などは2022年1月時点のもの



立命館大学校友会では、「校友会未来人財育成基金」を活用し、2021年度から「立命館大学校友会未来人財育成奨励金(団体支援)」という制度のもと、学部・研究科、回生、キャンパスを超え、「グループで学びたい!チャレンジしたい!」という想いを持った団体を支援しています。

CHEERING # ALUMNI
応援しよう、個のかがやきを。

立命館大学校友会は、校友会活動ビジョンのもと、日本全国・世界各地で、今を頑張っているかがやく校友たちを応援しています!

校友会未来人財育成基金の実績 (2021年12月31日時点) 4,804の個人・団体・法人から 289,341,506円



寺田 栄里子さん('98産社)

島根県在住/旭日酒造株式会社 専務取締役 副社長

出雲で醸すお酒とご縁

「十 旭日」と出雲大社御神酒の銘柄「八千矛」を大切に醸す。自然に存在する微生物を生かす生酛造りに注力しつつ、温度や料理との相性で深まる日本酒の魅力を発信しています。循環型の酒蔵の仕事をも多くの分野の方と再構成していく道を目指します。



近藤 隆郎さん('91法)

大阪府在住/神戸山手女子中学校高等学校 教諭

読売教育賞 最優秀賞受賞! # TABLE FOR TWO

1回の食事代金のうちの寄付金20円で、途上国に給食1食を届ける活動TABLE FOR TWOに取り組み、第70回読売教育賞最優秀賞(社会科教育)を受賞しました。これまでの2万食に加えて、今回の賞金30万円の寄付で新たに1万5千食が届けられます。

募集要項: 寄付の金額 (1)個人・団体(校友会などの任意団体)の場合... (2)法人の場合... 募集期間: 期間に定めはありません。 活用プラン: 海外留学支援、成長支援、課外活動支援、研究支援、施設整備支援。 税制上の優遇措置について: 本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

申込方法: 1 WEBで申し込む: 立命館大学校友会のホームページよりお申し込みください。 2 書面で申し込む: 立命館大学校友会事務局に資料をご請求ください。 QRコード: https://alumni.ritsumeijp/gift/ お問い合わせ先(受付時間 土日祝を除く 9:30~17:00): 立命館大学校友会事務局 075-813-8216 立命館 総務部 寄付事務局 075-813-8110

オンラインで つながる、ひろがる

各校友会のオンラインでの取り組み

各校友会による
オンラインイベントの
開催案内はこちら。
ぜひご参加ください！



立命館大学校友会では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、オンラインでの取り組みを推進し、各種会議や委員会もオンラインで開催しています。各都道府県校友会や学部・学系校友会でもオンラインでの活動が広がっており、その一例をご紹介します。

2022
1/22
都道府県

オンライン併用開催 /
北海道校友会 新年交流会



(撮影時のみマスクを外しています)

2021
11/23
都道府県

初のオンライン開催 /
広島県東部校友会 総会



2021
11/27
都道府県

初のオンライン併用開催 /
千葉県校友会 総会



(撮影時のみマスクを外しています)

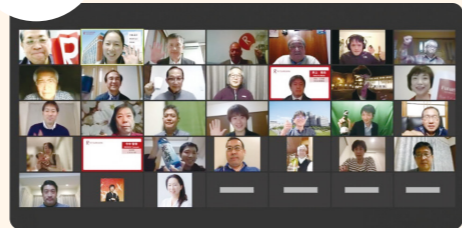
2021
11/13
学部・学系

初のオンライン開催 /
情報会 ホームカミングデー 2021



2021
11/13
都道府県

初のオンライン開催 /
愛知県校友会 イヤーズミーティング



2021
12/5
学部・学系

オンライン併用開催 /
文学部校友会 清心館・啓明館完成記念企画 講演会



校友会 ネットワーク

各校友会が開催した行事の報告です。



行事一覧

2021年11月～2022年3月に行われた各団体の行事の一部を紹介しています。

*詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<https://alumni.ritsumeijp>

日程	校友会・グループ	会場
2021/11/6(土)	経済学部同窓会 講演会	オンライン開催
2021/11/13(土)	愛知県校友会 イヤーズミーティング	オンライン開催
2021/11/13(土)	情報会 ホームカミングデー 2021	オンライン開催
2021/11/13(土)	経営学部校友会 第2回セミナー	立命館大学大阪いばらきキャンパス(オンライン併用開催)
2021/11/13(土)	技術士会 交流・懇親会	中央電気倶楽部
2021/11/14(日)	兵庫県校友会 全体役員会(ミニ総会)	神戸商工貿易センタービル
2021/11/20(土)	鳥取県西部校友会 総会	株式会社エスジーズ 本社
2021/11/20(土)	立命館スポーツフェロー 総会 理事長・総長を囲む集い	ザ・プリンス 京都宝ヶ池
2021/11/20(土)	静岡県校友会 第3回リモート交流会	オンライン開催
2021/11/23(火)	広島県東部校友会 総会	オンライン開催
2021/11/23(火)	奈良県校友会西和立命会 記念セミナー	奈良県香芝市下田地区公民館(オンライン併用開催)
2021/11/26(金)	立命館学園会計人会 総会・研修会	京都税理士会館(オンライン併用開催)
2021/11/27(土)	千葉県校友会 総会	立命館東京キャンパス(オンライン併用開催)
2021/11/27(土)	広島県西部地区校友会 総会	宮島コーラルホテル
2021/12/5(日)	文学部校友会 清心館・啓明館完成記念企画 講演会	立命館大学衣笠キャンパス(オンライン併用開催)
2021/12/10(金)	機友会 総会	オンライン開催
2021/12/12(日)	立命館公認会計士校友会 総会	オンライン開催
2022/1/22(土)	北海道校友会 新年交流会	ホテルライフォート札幌(オンライン併用開催)
2022/1/26(水)	理工ESSOB会 総会	オンライン開催
2022/2/11(金)	大阪校友会 総会	オンライン開催
2022/2/13(日)	立命館スポーツフェロー 体育会歓送会(表彰式のみ開催)	ホテルグランヴィア京都
2022/2/26(土)	経営学部校友会 第3回セミナー	立命館朱雀キャンパス(オンライン併用開催)
2022/3/19(土)	東京校友会 総会	立命館東京キャンパス(オンライン併用開催)

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、開催されました。 ※掲載情報は2022年1月末時点の情報となります。

校友会
TOPICS

立命館宇治高校2年生対象キャリア企画 「授業+R2021」を開催

12月15日・1月29日、立命館宇治高校で2年生を対象としたキャリア企画「授業+R2021」が行われました。この企画は、立命館大学の校友と大学生・大学院生が講師となり、自身の学生時代や社会人としての経験をもとに授業を行うものです。「授業+R」は2009年度にスタートし、今回で13回目を迎えました。校友による授業は前年に引き続き、オンラインで行い、初めて海外からも校友が講師として参加するなど、オンラインの良さを生かした授業となりました。授業後に行ったアンケートでは、「将来のことを考えるきっかけになった」「新しい価値観を知った」など、高校生たちの前向きな意見が多く寄せられました。


(上) 12月に行われた大学生による授業の様子、(下) オンラインで授業を行った校友と大学生の企画運営スタッフ






立命館オンラインセミナー


「学び」は大きな変革の時を迎えています。新型コロナウイルス感染症は、世界中に計り知れない影響を与えています。社会インフラ・経済システムのみならず、私たちの生活様式やコミュニケーションのあり方さえも見直しを求められています。「学び」も大きな影響を受けていますが、「オンライン」だからこそできることがあるのではないかと、この思いから、「立命館オンラインセミナー」を開始しました。どこからでもアカデミックな講義を受講できる、何度でも繰り返し視聴できる、素朴な疑問もネットであれば質問できる、そんな「学び」を体験してみませんか？



PC・スマホ・タブレットから
カンタン受講！
※1




自宅からでも
どこからでも
受講できる！



Q&Aで
講師に質問が
できる！
※2

※1 受講にはあらかじめZoom(アプリケーション)のダウンロードが必要です。
※2 受講者は顔や名前が他の受講者に表示されることはありません。

4月以降の講義は、
こちらから



お申し込み方法

インターネットからお申し込みください  スマホ・タブレットから   PCから ▶ 検索

※電話・FAX・郵送・メールでのお申し込みはできません。※お支払いはクレジットカード払いのみです(JCB・VISA・Mastercard・American Expressがご利用いただけます)。

2021年度講義オンラインナップ(一部)

西園寺公望と中川小十郎
山崎有恒 講師
5/16 18:00-19:00
知られざる西園寺公望
— 一歩先を歩いた公望と小十郎の軌跡 —
5/29 18:00-19:00
立命館創立者 中川小十郎の軌跡
— アジアを駆けつた立命館の祖 —
5月19日は立命館創立記念日!

DX時代のサイバーセキュリティ入門
初回無料
上原 哲太郎 講師
6/10 18:00 サイバー攻撃とその対処法
— 最新のサイバーセキュリティの脅威と対策 —
6/23 18:00 監査とセキュリティ
— 最新のセキュリティの脅威と対策 —
7/7 7日 現代経済
— 最新のセキュリティの脅威と対策 —
7/14 18:00 知ってほしいサイバーセキュリティ

伝教大師最澄1200年大遠忌 平安仏教の源流
初回無料
本郷 真紹 講師
9/11 18:00 平安時代の仏教
— 平安時代の仏教の源流と展開 —
9/18 18:00 平安時代の仏教
— 平安時代の仏教の源流と展開 —
9/25 18:00 平安時代の仏教
— 平安時代の仏教の源流と展開 —

ゼロから考えるリーダーシップ
高橋 深 講師
10/15 18:00 リーダーシップとマネジメント
10/22 18:00 リーダーシップの理論と実践
10/29 18:00 リーダーシップを創る
11/5 18:00 リーダーシップを伸ばす

始皇帝と秦帝国
第1回無料
出文字資料からその実像を探る
鷹取 祐司 講師
11/13 18:00 秦始皇帝の真実
11/20 18:00 秦帝国の再発見
12/11 18:00 秦人の日常生活

石牟礼道子と能—新作品「沖宮」の世界—
12/12 18:00
沖宮
石牟礼道子 著
立命館大学 大塚いづみセンター
12/12 18:00 石牟礼道子と能
— 新作品「沖宮」の世界 —
12/12 18:00 石牟礼道子と能
— 新作品「沖宮」の世界 —

ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門
12/17 18:00
島川 博光 講師
立命館大学 経営学部
12/17 18:00 データサイエンス入門
— ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門 —
12/17 18:00 データサイエンス入門
— ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門 —

招福と福神
川嶋 将生 講師
立命館大学 経営学部
1/18 18:00 招福と福神
— 招福と福神の源流と展開 —
1/18 18:00 招福と福神
— 招福と福神の源流と展開 —

*「石牟礼道子と能—新作品「沖宮」の世界—」は、主催:新作品「沖宮」公演実行委員会、協力:学校法人立命館、後援:茨木市・立命館大学京都校友会、運営:立命館アカデミックセンター

主催 立命館大学 社会連携課 住所:京都市中京区西ノ京朱雀町1
お問い合わせ 立命館アカデミックセンター事務局 E-Mail: acr02@st.ritsumeikai.ac.jp
Facebookも発信中!

立命館大学の公式YouTubeチャンネル Ritsumeikan Channel

立命館大学公式YouTubeチャンネル「Ritsumeikan Channel」では、「教育」「イベント」「学生・生徒・児童の活躍」「キャンパス風景」「立命館学園・大学・学校・学部・研究科紹介」「研究」「一貫教育」「留学プログラム」の категорияで、大学の今をお届けしています。



〈教育・研究〉




〈学生の活躍〉




〈キャンパス風景〉





〈and more〉





最新動画はチャンネルページでチェック!
<https://www.youtube.com/user/ritsumeikanu>

立命館チャンネル



SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化オフィス
☎ 077-561-3977

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

ボート部

全日本大学選手権で女子総合優勝

10月28～31日に、戸田ポートコース(埼玉県)で「第99回全日本選手権大会兼第48回全日本大学選手権」(インカレ)が開催されました。

松田京子選手(スポ健2)、鈴木伶奈選手(経済3)、阿南美咲選手(経済1)、志賀早耶香選手(経済2)、越智楽々渚選手(スポ健1)が出場した「女子舵手付きフォア」ではインカレ4連覇となる優勝を飾りました。また、福原萌意選手(スポ健4)と久保那月選手(スポ健2)が出場した「女子ペア」でも、全日本選手権8連覇とインカレ2連覇となる優勝を勝ち取るなど各種目でポイントを重ね、創部初の全日本大学選手権女子総合優勝を成し遂げました。



射撃部

全日本学生スポーツ射撃選手権大会で個人日本一、団体準優勝

11月11～13日に、能勢町ライフル射撃場(大阪府)他全国5会場で分散開催された「2021年度全日本学生スポーツ射撃選手権大会」(インカレ)において、田邊侘奈選手(文1)が、10発を1シリーズとして、6シリーズ合計60発の得点上位から順位を決定する「10mエアライフル立射60発競技」にて、627.4点と関西学生ライフル射撃連盟新記録、また大会新記録となる高得点で優勝し、日本一に輝きました。

また、主将の大嶽菜月選手(産社3)、田邊選手、松宮沙也加選手(経営1)で挑んだ同種目の団体戦では、準優勝を飾りました。

日本拳法部

全日本学生拳法選手権大会 女子団体で2連覇達成

11月14日に、エディオンアリーナ大阪(大阪府)で開催された「第66回全日本学生拳法選手権大会」において、日本拳法部が女子団体で優勝し、2連覇を達成しました。

今大会は全国から16チームが出場して行われました。初戦、2回戦をいずれも3対0と快勝し、準決勝では関西学院大学に2対1で勝ち、昨年度も優勝を競った関西大学との決勝に駒を進めました。先鋒で敗れるも、中堅の角野円香選手(産社3)、そして大将の坂本佳乃子選手(産社4)が勝利し、優勝を果たしました。また、女子最優秀選手に、昨年度に続いて2年連続で主将の坂本選手が選出されました。

馬術部

全日本学生馬術選手権大会で男女アベック準優勝

11月26～28日に、蒜山ホースパーク(岡山県)で開催された「全日本学生馬術選手権大会」において、森本修平選手(産社4)が準優勝、大井千帆選手(国関3)が準優勝を果たし、男女共に準優勝を成し遂げました。

今大会では、馬のさまざまなステップや図形を描くような動きの正確さと美しさを競う「馬場馬術競技」の得点から、競技場内に設置された約10個の障害物乗り越え、ミス最少と走行時間を競う「障害飛越競技」での減点分を差し引いた、2種目の総得点で勝敗が決定します。雪がちらつく厳しい寒さの中での大会でしたが、両選手とも順当に勝ち進み、準決勝を通過。決勝では一歩及ばなかったものの、見事準優勝を果たしました。

相撲部

全国学生女子相撲選手権大会で松本渚選手が2階級制覇、中量級で2連覇を達成

11月28日に、日本大学相撲道場(東京都)で開催された「第8回全国学生女子相撲選手権大会」(インカレ)において、松本渚選手(スポ健4)が、個人戦の中量級と無差別級で優勝を果たしました。

2連覇を目指し臨んだ中量級では、初戦から順当に勝ち上がり、決勝に駒を進めました。迎えた決勝戦でも力強さを見せつけ、見事2連覇を果たしました。その後行われた無差別級の試合では、鋭い技と素早い立ち回りで対戦相手を次々と翻弄。決勝戦では、自身よりも体格の大きい選手に対し、豪快な上手投げで勝利を収め、個人戦2階級制覇の快挙を成し遂げました。

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
☎ 075-465-8167

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

情報理工学部プロジェクト団体「Ri-one」

「Ri-one」がRobo Cupアジア大会で上位入賞

11月25～29日に、Aichi Sky Expo(愛知県)などで開催された「ロボカップアジアパシフィック2021 あいち」において、情報理工学部のプロジェクト団体「Ri-one」が、コンピューター内に作られた市街地で大規模な災害が発生したことを想定し、犠牲者を減らすことを目的とした仮想実験を行う競技 Rescue Simulationで2位、小型ロボットでサッカーを行う競技 Soccer Small Sizeで5位入賞を果たしました。

自立型ロボットの国際大会である「ロボカップ」。アジアパシフィック大会の日本での開催は今回が初めてで、会場で実施する「オンサイト競技」とオンラインで行われる「バーチャル競技」が併用開催されました。世界各国から多数のチームが集まる中で、健闘を見せました。

競技ダンス部

全日本学生競技ダンス選手権大会で準優勝

12月4・5日に、獨協大学(埼玉県)で開催された「第66回全日本学生競技ダンス選手権大会」スタンダード種目クイックステップの部において、田中高輝さん(文4)と竜口七彩さん('21経済)のペアが準優勝しました。

競技ダンスのスタンダード種目では、ペアと向き合い、手をつないだまま踊りを披露します。中でもクイックステップは、速いテンポで跳ねる・走る・スキップする動きを取り入れ、フロアを駆け回るスピード感と軽快さがあるダンスです。田中さん・竜口さんのペアは息の合った軽やかなダンスを披露しました。

最新情報は
こちらを
チェック!



バトントワリング部

バトントワリング全国大会 学校部門で最優秀賞

12月11・12日に、幕張メッセ(千葉県)で開催された「第49回バトントワリング全国大会」の学校部門・大学バトン編成において、バトントワリング部が最優秀賞を獲得し、4年ぶりに全国大会で日本一に輝きました。

バトントワリングでは、19人全員による息の合った集団美や曲調に合わせた体の使い方、バトンで空間を使ったダイナミックさを審査員に表現します。1曲の中にストーリーがあり、強い曲調の際は表現が強まるなど、場面ごとに変わる雰囲気も見どころの一つです。

将棋研究会

全日本学生将棋団体対抗戦で4年ぶりの優勝

12月22～24日に、四日市市文化会館(三重県)で開催された「第52回全日本学生将棋団体対抗戦(学生王座戦)」において、将棋研究会が4年ぶりとなる優勝を果たしました。

学生王座戦は、各地区の代表10校による総当たりのリーグ戦が行われ、各校7人が並行して対戦し、4勝以上したチームが勝ち点1を得ます。立命館大学は、序盤から好調を維持し、無傷の6連勝。7回戦で最大の山場、前回大会優勝の東京大学との対戦を迎えました。一進一退の攻防を繰り広げた末、4対3で接戦をものにし、昨年度の雪辱を果たしました。その勢いのままに8回戦も勝利し、最終9回戦で早稲田大学との全勝対決に挑みました。互いに一歩も譲らない白熱した戦いの末、5対2で勝利しました。



絶滅寸前種「フジバカマ」の鉢植えを 嵐電北野線の全駅に展示

立命館大学衣笠キャンパスの学生・教職員、近隣住民、京福電気鉄道株式会社に構成される「嵐電沿線フジバカマプロジェクト」では、SDGsの目標15にある「生物多様性の損失阻止」に向けた取り組みとして、京都府で絶滅寸前種に指定されている「フジバカマ」を挿し芽で増やし、栽培してきました。それを鉢植えにして、2021年10月2～10日、嵐電北野線(帷子ノ辻～北野白梅町)の全駅に展示。衣笠キャンパスを含む沿線地域が一体となってフジバカマの保全に取り組み、嵐電北野線の全駅の緑化につなげました。



産業社会学部 小澤亘ゼミで嵯峨嵐山地域の 多言語観光サイクリングマップを制作

産業社会学部・小澤亘ゼミの学生たちは、立命館大学と連携・協力に関する協定を結んでいる京福電気鉄道株式会社の協力を得て、嵯峨嵐山地域の多言語観光サイクリングマップを制作しました。学生はテーマごとに3つのモデルコースを企画。留学生が中心となって日本語のマップを英語・韓国語・中国語に翻訳しました。マップは嵐山駅ビル「らんぶらレンタサイクル」の利用者に無料配布される他、2021年10月から京福電気鉄道の嵐電ホームページからもダウンロードが開始されました。



ダイバーシティ・産学連携分野の新展開へ お茶の水女子大学と協定締結

2021年10月26日、立命館大学と国立大学法人お茶の水女子大学は、それぞれの持つ人材や知識・情報などの資源を活用し、相互に協力することによる、研究の充実と有為な人材の育成への寄与を目的として、連携・協力に関する協定を締結しました。相互の人的・知的資源の交流・活用として、「ジェンダーイノベーション」をテーマに、両大学の研究センター・研究所間の共同研究や人材交流、両大学と産業界とのネットワークを含めた産学連携を進めていきます。



文学部・夏目宗幸助教が 「地理情報システム学会・学会賞」を受賞

文学部・夏目宗幸特任助教が一般社団法人地理情報システム学会の「2021年度学会賞 研究奨励部門」を受賞しました。『GIS-理論と応用』に掲載された2編の論文に加え、同学会の若手分科会で優秀賞を受賞した実績、さらには歴史GISやGIS教育の研究分野に貢献したことが受賞につながりました。授賞式は2021年10月31日、地理情報システム学会第30回大会の閉会式で行われ、受賞者には会長から賞状と副賞の盾が贈呈されました。



文学部「キャンパスアジア・プログラム」が 文科省「大学の世界展開力強化事業」に採択

2021年11月2日、立命館大学文学部の「東アジアグローバルリーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス」事業(キャンパスアジア・プログラム)が、文部科学省の「令和3年度大学教育再生戦略推進費『大学の世界展開力強化事業』～アジア高等教育共同体(仮称)形成促進～」に3期連続で採択されました。文部科学省の支援を受け、5カ年計画で、韓国と中国の立命館大学協定大学と立命館アジア太平洋大学との連携を強化し、アジア域内の高等教育制度の相違を超えて、世界で通用する質の高い教育を目指します。



2年ぶりに3キャンパスで 2021年度立命館大学学園祭を開催

立命館大学は、2021年11月14日に衣笠キャンパス、11月28日に大阪いばらきキャンパス、12月12日にはびわこ・くさつキャンパスにて、2年ぶりに2021年度立命館大学学園祭を開催しました。学園祭テーマ「Re:Start(再始動)」には、「力を合わせ、新たな思いで学園祭を実現させたい」という思いが込められました。各キャンパスでは、サークルやクラブのパフォーマンスやさまざまなイベントを実施。新型コロナウイルス感染症対策でキャンパスの入構人数を制限した上で、大勢の学生・保護者や地域の方々が来場しました。



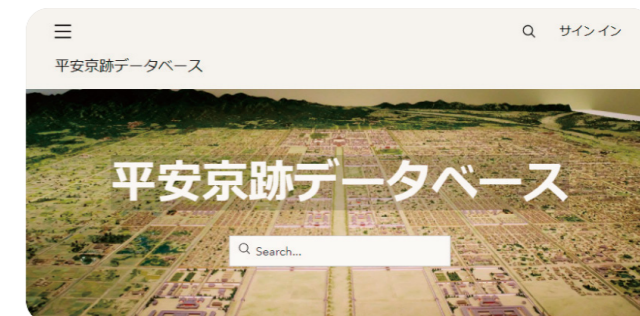
学生団体「And Field」が下宿生の自炊を応援! 簡単調理の食材セットを販売

2021年11月24～26日、学生団体「And Field」が立命館生活協同組合と連携し、下宿生の自炊を応援するため、衣笠キャンパスの存心館食堂で簡単に調理できる食材セットを販売しました。食材セットは、「ジャーマンポテトセット(主菜)」、「ほうれん草の胡麻和えセット(副菜)」、「肉団子の味噌スープセット(スープ)」の計3種類。メニューには、下宿生が手軽に自炊でき、かつ栄養バランスの取れた食生活を送ることができるよう工夫が凝らされました。



京都の地図に平安京を復元 「平安京跡データベース」を一般公開

立命館大学アート・リサーチセンターおよび立命館大学歴史都市防災研究所は、京都市生涯学習総合センターと連携し、平安京跡の発掘調査結果をまとめた「平安京跡データベース」を2021年11月25日から一般の方に向けて公開しました。公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所が中心となって進めてきた平安京に関する発掘調査の成果をWebの地図上で可視化。誰もが約5,000件の調査概要資料などを閲覧・ダウンロードして利用できるようにしました。今後、一般の方が自由に平安京に関する情報を作成・加工・公開できるようさらなる環境づくりに取り組みます。



東京2020オリンピック・パラリンピック アスリート・関係者が授業

立命館大学産業社会学部では、読売新聞社と連携し、スポーツ競技の現状や諸課題について洞察を深めることを目的とした「専門特殊講義I」を開講しています。2021年度は東京2020オリンピック・パラリンピックに焦点を当て、大会に出場したアスリート・関係者が授業を行いました。2021年12月6日の授業では、ホッケー男子日本代表として東京2020オリンピックに出場した田中健太選手('13産社)、田中世蓮選手('15産社)がオンラインで登壇しました。



立命館大学飛行機研究会が 小学校で特別授業を実施

2021年12月6日、立命館大学飛行機研究会の学生が、びわこ・くさつキャンパスに隣接する津市立青山小学校の4年生を対象に、紙ひこうきに関する特別授業を開催しました。鳥人間コンテスト選手権大会に挑戦し、児童にとっても身近な存在である同研究会の学生が、飛行機の飛ぶ仕組みを分かりやすく説明した上で、児童たちと一緒によく飛ぶ紙ひこうきを作り、皆で飛ばしました。児童からは「いっぱい飛んで楽しかった!」などといった感想が聞かれました。



経済学部・竹内あい准教授が 「女性研究者奨励賞」を受賞

2021年12月7日、経済学部・竹内あい准教授が一般社団法人日本経済学会の「日本経済学会・女性研究者奨励賞(日本生命賞)」を受賞しました。この賞は、日本生命保険相互会社の寄付によって2020年に創設され、優れた研究を行う若手女性研究者に授与されています。竹内准教授の研究は、ミクロ経済理論に対する深い理解に根差し、実験経済学的手法によってミクロ経済理論の一層の発展を目指すという高い理想に基づくものとして評価されました。



起業アイデアを提案するコンテスト 「総長PITCH THE FINAL」を開催

2021年12月11日、立命館大学朱雀キャンパスで、立命館学園の学生・生徒が社会課題を解決するための起業アイデアを総長や投資家に提案するコンテスト「総長PITCH THE FINAL」を開催しました。本コンテストは、2019年に始動した社会起業家を支援する「立命館・社会起業家支援プラットフォームRIMIX」の一環です。3回目となる今回は、21チームが応募。選考を通過した立命館大学、立命館アジア太平洋大学、立命館守山高校の計7チームが、RIMIX協力企業であるソニー株式会社の支援を受けて練り上げたアイデアを披露しました。



先端総合学術研究科・岸政彦教授の 小説が第38回織田作之助賞を受賞

2021年12月17日、先端総合学術研究科・岸政彦教授の小説『リリアン』(新潮社)が「第38回織田作之助賞」を受賞しました。同賞は織田作之助賞実行委員会(大阪市・大阪文学振興会・関西大学・パソナグループ・毎日新聞社)が主催。2020年10月1日から1年間で刊行された新鋭作家の単行本から選出されました。岸教授は「大阪で長年暮らし、大阪を題材にした小説を書いて、大阪にちなんで織田作之助賞を受賞して、こんなにうれしいことはありません」とコメントを寄せました。



びわこ・くさつキャンパスで コミュニケーションロボットの実証実験

2021年12月、びわこ・くさつキャンパスにおいて、情報理工学部・岡藤勇希助教の研究チームが、コミュニケーションロボットによる人々の購買行動の変容に関する実証実験を行いました。岡藤助教らは、株式会社サイバーエージェントAI Labと大阪大学大学院基礎工学研究科の共同研究に参画し、人々に行動変容を起こすロボットを開発しています。ペーカリーカフェで、コミュニケーションロボット「Sota(ソータ)」が「あんこクロワッサン」を3パターンで紹介し、学生・教職員の購買行動をモニタリングしました。



総合科学技術研究機構・元村一基助教が 優れた研究者に贈られる2つの賞を受賞

総合科学技術研究機構・元村一基助教が「日本細胞生物学会 若手最優秀発表賞」と「日本植物形態学会 平瀬賞」を受賞しました。元村助教は、シロイヌナズナという植物を使って、世界で初めて細胞質内に「核」を持たない花粉管の作出に成功。この核を除いた花粉管が卵細胞へ正確にたどり着く能力を保持していることを明らかにしました。綿密な観察によってこれまでの常識を覆した先駆的な成果が高く評価され、今回の受賞となりました。



グランフロント大阪で 「あなただけに伝わる雰囲気提示技術」を展示

グランフロント大阪内にある「The Lab アクティブラボ立命館ブース」において、2022年1月13日より情報理工学部 Media Experience Design (MxD) 研究室(野間春生教授)と音情報処理研究室(西浦敬信教授)のコラボ展示が行われました。「あなただけに伝わる雰囲気提示技術」と題して、MxD研究室の香り提示技術と音情報処理研究室の超音波による音のスポットライト技術を組み合わせ、特定の場所にいる人だけに香りと音の情報を伝えるスポッティング技術が紹介されました。



復興のその先へ 東日本大震災 被災地はいま。

～復興リレーメッセージ 第6回 福島県～

2011年3月11日の東日本大震災から11年がたちました。立命館大学校友会の東日本大震災被災地復興支援の活動は2020年3月をもって一つの区切りを迎えましたが、震災の記憶を風化させないために、“被災地のいま”を各校友会からお届けします。



2022年1月8日に檜葉町で開催されたどんと焼きの様子

大学でのボランティア活動を通じて出会った福島県檜葉町。就職と同時に移り住み、5年がたとうとしています。檜葉町は、福島第一原子力発電所の事故に伴い全町避難を余儀なくされましたが、2015年に避難指示が解除になり、現人口の約6割の方が町内に暮らしています。

2022年1月8日。私が暮らす前原地区では、どんと焼き※という伝統行事が11年ぶりに再開されました。津波被災により、地区の約半数の方が元の場所での再建ができませんでした。かつてのように人々が集い、お酒や餅を手に火を囲んで昔話をする。震災により失った大切なものをつくり直す日々は、今もまだ続いています。かつてはよそ者として関わっていた私も、結婚・出産を経て、この町で一つの暮らしをつくる人間となりました。学生時代、被災者と支援者という立場を超えて“人として関わる”ことの大切さを学んだからこそ、共にこの火を囲む未来をつくることができたと感じています。

立命館大学福島県校友会
西崎芽衣(17産社)

※どんと焼き: 竹などで立てた小屋をお正月飾りや御札とともに燃やし、無病息災を祈る行事

会報と大学・校友会の最新ニュースをメールでお届けします!

年3回 校友会報「りつめい」

会報メール配信登録サービス受付中!

校友会報「りつめい」最新号をメールで受け取りに変更しませんか?
ご登録いただくと、PDFまたはデジタルブックでご覧いただけます。

本サービスに登録されると、現在会報をお届けしているご住所への郵送はされません。ご了承ください。

- お申し込みのタイミングによっては、次々号の会報からの配信となる可能性があります。
- 会報のお届け(郵送や本サービスによるメール配信)は、立命館大学校友会の終身会費30,000円をお納めいただいている方に限ります。

月1回 立命館 Beyond Borders NEWS

メールアドレスをご登録ください!

NEWS
EVENT

※月1回程度(年12回程度)配信

立命館 Beyond Borders NEWSとは?

- 立命館大学の教育・研究や学生に関わる最新ニュース、イベントやセミナーのご案内、校友会のイベント情報などをお届けします。
- 校友会にメールアドレスをご登録いただいている皆さまに、月1回程度メールで配信します。(既に立命館 Beyond Borders NEWSが届いている方は、新たな手続きは不要です。)

各種お手続きは、右記のご連絡先変更フォームから

- メールアドレスの登録・変更
- 会報受け取り方法の変更 など

お手続き方法

ご連絡先変更フォームにて、必要事項をご入力の上、「立命館からのご案内について」の欄でご希望の内容を選択してください。

- ▶ 会報「りつめい」をメールで受け取るなら……
【会報のお届けについて】→「メールでの送付を希望する(現住所メールアドレス宛)」を選択してください。
- ▶ 立命館 Beyond Borders NEWSを受け取るなら……
【メールニュース・各種ご案内について】→「案内を希望する」を選択してください。

<https://alumni.ritsumei.jp/procedure/entry/>

校友も利用できるサービスがあります! 卒業後も大学を利用しよう!

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、キャンパス入構および図書館の利用が通常とは異なる場合がございます。下記のURLより最新の情報をご確認ください。

▶ <http://www.ritsumei.ac.jp/news/covid19/>

校友サロンのご利用

立命館大学では各キャンパスに「校友サロン」を設けています。校友のお仲間同士やご家族で、母校へお越しの際の待ち合わせや、くつろぎの場としてぜひご利用ください。※時間外の対応はいたしかねますのでご了承ください。詳細は校友会ホームページ「活用する」の「校友サロン」のご利用をご覧ください。

▶ <https://alumni.ritsumei.jp/use/use/>

校友サロン

- びわこ・くさつキャンパス コアステーション3階ラウンジ
- 大阪いばらきキャンパス B棟1階ラウンジ
- 朱雀キャンパス 中川会館6階校友ロビー

※衣笠キャンパス 国際平和ミュージアムロビー(1階・2階)

2021年4月より約2年半はリニューアルのため休館しています。その期間は校友サロンをご利用できません。あらかじめご了承ください。再開についての情報は校友会ホームページにてご確認ください。

図書館のご利用

衣笠の平井嘉一郎記念図書館、BKCのメディアセンターとメディアライブラリー、OICライブラリー、朱雀リサーチライブラリーをご利用いただけます。※ご利用には申請が必要です。

窓口

▶ <http://www.ritsumei.ac.jp/lib/>

- 平井嘉一郎記念図書館(衣笠) TEL.075-465-8217
- メディアセンター(BKC) TEL.077-561-2634
- メディアライブラリー(BKC) TEL.077-561-3943
- OICライブラリー TEL.072-665-2520
- 朱雀リサーチライブラリー TEL.075-813-8257

各種証明書のお申し込み

申し込み方法

校友会ホームページ「各種手続き」の「証明書申込案内」をご覧ください。

▶ <https://alumni.ritsumei.jp/procedure/info/>

コンビニでの証明書発行サービスについてはP.31をご覧ください。

ご不明な点がございましたら、下記窓口までお問い合わせください。

窓口

- 衣笠キャンパス
〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1
衣笠学びステーション 証明書発行係
TEL.075-465-7877
法務、公務、教職研究科は朱雀キャンパス(朱雀独立研究科事務室)でも窓口での受付・発行を行います。
- びわこ・くさつキャンパス
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
BKC学びステーション 証明書発行係
TEL.077-561-4972
- 大阪いばらきキャンパス
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150
OIC学びステーション 証明書発行係
TEL.072-665-2050

ご連絡先の更新をお願いします

いつも、校友会報「りつめい」をご愛読いただきましてありがとうございます。ご登録いただいている情報に基づき、校友会報とともに各地の校友会の情報、イベント等のご案内を同封してお届けしています。お住まいやお勤め先などの連絡先に変更が生じましたら、下記から更新をお願いいたします。

ご連絡先変更フォームURL ▶ <https://alumni.ritsumei.jp/procedure/entry/>



叙勲

■瑞宝重光章
川口清史氏(教職員校友)
元立命館大学学長

■旭日中綬章
隈元新氏(73経営)
元伊佐市長

■瑞宝中綬章
佐山雅彦氏(74法)
元和歌山地方検察庁検事正

■旭日小綬章
平井弘明氏(68理工)
元倉敷市議会議員

■瑞宝小綬章
横山健一氏(68法)
元兵庫県警察本部生活安全部長

木村嘉勝氏(68理工)
元労働省労働基準局
安全衛生部化学物質調査課長

中本豊治氏(70産社)
元長崎県商工労働部長

安井大悟氏(70院文)
元龍谷大学付属平安高等学校校長

石田八郎氏(73法)
元在オークランド
日本国総領事館総領事
小野勝成氏(75法)
元神戸地方法務局長

■旭日双光章
千振和雄氏(75法)
公益社団法人
全国宅地建物取引業協会連合会
副会長

■瑞宝双光章
白井義男氏(59経済)
元大阪府警察事務吏員

木村祐三氏(67文)
元公立高等学校長

■旭日単光章
山崎元和氏(69文)
兵庫県ポート協会会長

褒章

■黄綬褒章
塚越徹也氏(91経済)
有限会社若葉美容室代表取締役

就任

松村俊宏氏(76理工)
ポエック株式会社
代表取締役社長
高橋誠氏(87産社)
四国中央市副市長

泉健太氏(98法)
立憲民主党代表

当選

畠中源一氏(72法)
京丹波町長選挙

訃報

福田晃氏
立命館大学名誉教授(文学部)

BOOKS (ご著書のご寄贈)

校友会へご寄贈いただきました
ご著書の中から一部をご紹介します。

◆石原洋輔氏(65法)著
『八十歳 論語に遊ぶ
人生百年を見つめて』
株式会社栄光出版社 1,540円(税込)

◆大淵幸治氏(78文)著
『本当は怖い京とば』
株式会社リベラル社 1,430円(税込)

◆中田俊彦氏(80理工)著
『企業研究者の心得
理系学生から現役研究者のための
人生指南書』
株式会社総合科学出版 1,870円(税込)

◆鈴木文彦氏(93産社)著
『自治体の財政診断入門
「損益計算書」を作れば稼ぐ力がわかる』
株式会社学芸出版社 2,750円(税込)

◆西村仁氏(06院経営)著
『はじめての現場改善』
日刊工業新聞社 2,420円(税込)

◆鈴木ふみ氏(17文)著
『櫓太鼓がきこえる』
株式会社集英社 1,760円(税込)

古本を活用した新たな支援のかたちです

BOOKS FOR BOOKS

～立命館の本活～

2013年4月から2021年12月末までに
7,251名の方から337,801冊の
本をお送りいただきました。
誠にありがとうございます。
引き続き、校友の皆さまのご協力を
よろしくお願い申し上げます。



どのような仕組みですか？



以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。

- ISBNのない本 ※バーコードの有無は関係ありません。
- 教科書
- 百科事典 ●コンビニコミック ●個人出版の本 ●マンガ雑誌 ●一般雑誌
- 同タイトル11点以上 ●シングルCD ●投票券等特典付きCD

〈お申し込み方法〉

① 梱包

書籍を段ボール箱に入れてください。

- 恐れ入りますが、段ボール箱は各自でご用意ください。
- 5点(5冊)以上から送料は無料となります。
- 1回の申込箱数は3箱までとさせていただきます。
- 2010年以前に出版された書籍はお値段がつかない場合があります。お申し込み前に下記の申込ページをご確認の上、お値段がつかない本をできるだけ除いていただきますようお願いいたします。

② 申込・集荷

提携会社バリューブックスの
ホームページからお申し込みください。

●お電話ではお申し込みいただけません。
<https://www.charibon.jp/partner/ritsumeiu/>
立命館の本活 検索

お問い合わせ先

学校法人立命館 総務部 寄付事務局 TEL:075-813-8110(平日9:30～17:00)
※取扱品などについての詳細は、上記のホームページの「ご利用ガイド」に掲載しています。

お申し込みに関してのお願い

買取額は市場価格等を考慮して(株)バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている書籍であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申し込みいただく際には、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

3年目の試練か。年明けからオミクロン株の感染拡大。世界規模のパンデミックは先が見えないままだ。旅行ジャーナリストとして40数年、国内外の旅取材を生業とし、現場に足を運ぶことを信条としてきた。故にリモート取材は、回を重ねても消化不良。遠隔講義、オンデマンド、オンライン空間でのやりとりは、心身ともに劣化している自分を痛感する。現場での高揚感は遠ざかったまま、コロナ禍での制約された生活は、想像以上のストレスと息苦しさだ。緊急事態宣言解除の合間を縫って11月に、沖縄へロケハン。基地周辺にも立ち寄ってきた。が、またもまん延防止自粛期間に突入。我慢と気力維持のいちごっこ。

(高橋英子)

編集室から

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます!皆さんは校友としてのスタートでもあります。在校中より発生した感染症、また化石燃料に依存しない社会志向や、国産の副反応の少ないワクチン開発など、取り組まなければならない問題は山積です。荒波の世の中には「えんじの旗」を靡かせた母校がしっかりとアンカーを下ろしていますので、いつでも校友会にご参加ください。

(乾)

一昨年から、新型コロナウイルス感染症のまん延で、私たちの生活様式は、大きく変貌させられています。昨春秋から年末に掛けて第5波が収まって、ようやく、元のような誰彼とも普通にコミュニケーションが取れる暮らしが戻ってくるのかと期待しましたが、世界的にも爆発的に感染が拡大したオミクロン株の猛威がわが国も拡大しまして、希望はもろくも打ち砕かれてしまいました。特に、大学受験生にとっては、次々と変わる政府の方針に翻弄されて大変だったと思います。新年度からは、リモートではなく、新入生も在校生も含めて、多くの学生であふれるような、充実したキャンパスライフができるような体制で迎えてあげたいですね。

(日下部和弘)

ここ数年、顧問として立命館大学の文化芸術サークルに関わる機会をいただいている。大会に向けて練習に力を注ぐだけでなく、地域交流、附属校生との連携など、活動の成果を学内外に還元しようとさまざまなことにチャレンジする彼らを見ると、私の方が元気をもらうことがある。今号の統一テーマは「挑戦を続ける」である。新型コロナウイルスの影響が続き、依然として私たちの生活や仕事にさまざまな制限がかかる中、未来に向かって努力し、挑戦し続ける方々の活躍は、私たちに元気や潤い、勇気を与えてくれる。桜の開花とともに間もなく新年度を迎える。安心して制約なく過ごせ、希望あふれる日が一日も早く訪れることを願う。

(加藤良直)

コンビニで証明書が発行可能になりました

立命館大学は、1990年4月以降の卒業生を対象として、一部証明書をコンビニエンスストアで発行・印刷できるサービスを開始しました。

(日本国内のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートが対象)



手順

- 右記のWEBサイトから利用を申請(初回のみ)。
<https://crt.ritsumeui.ac.jp/Student/ja-JP/Account/Login?Graduated=True>
本人確認書類の画像データが必要です。2回目以降は、利用申請は不要です。
- 利用申請の承認後、通知メールが届き、申請WEBサイトへログイン。
- メニュー画面から、受取方法で「コンビニ発行」を選択。
- 必要な証明書の種類と支払い方法を選択。
※コンビニ決済とクレジットカード決済が利用可能。
- 選択したコンビニのマルチコピー機で証明書を発行・印刷。



コンビニで発行できる証明書

- 卒業・修了証明書
- 退学証明書
- 成績証明書
- 非正規生証明書
- 在学期間証明書

料金

- 証明書発行手数料.....300円/1通
- システム利用手数料.....250円/1回の申請
- マルチコピー機のプリント料金.....20円/1枚

手続きの詳細、また1990年3月以前に卒業された方の証明書申込については右記のWEBサイトをご覧ください。

利用申請に関するお問い合わせ先
立命館大学衣笠学びステーション TEL:075-465-7877(平日9:00～17:00)

<https://alumni.ritsumeui.jp/procedure/info/>

